6　軒天

6－12　納まり詳細図

1）軒天18　標準施工法　QF060RS－9121

●下地組み

野縁梯子組：軒の出方向は軒元・軒先に、幅方向は455㎜以下の間隔で野縁
（軒の出500㎜以下：30×40㎜以上、軒の出500㎜超：35×40㎜以上）を組みます。

左右接合部は野縁2本組みとします。

軒の出が500㎜を超える場合は、軒の出@500㎜以下に吊り木（吊り木@1000㎜以下）で吊ります。

●下地の不陸は3㎜以下に調整します。

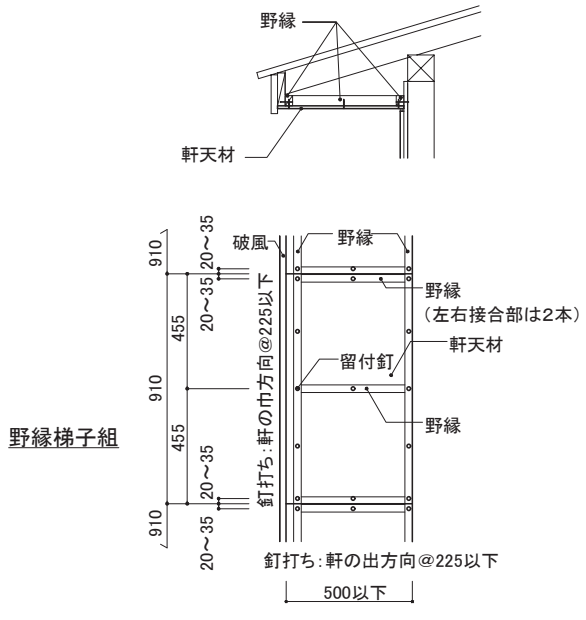
※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。

●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。

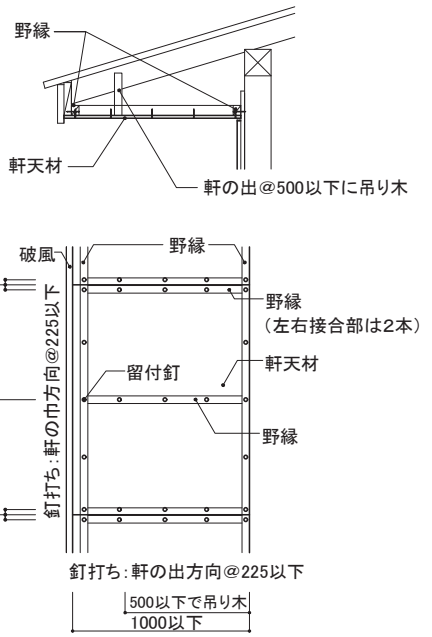
●軒天材の留め付けは専用釘（ステンレスリング釘φ2．75㎜×50㎜）を用い、
野縁梯子組：軒の幅方向・出方向ともに225㎜以下の間隔で留め付けます。

●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20～35㎜とします。

軒の出が500㎜以下の場合



軒の出が500～1000㎜以下の場合



野縁梯子組